

----- (前回からの続き) -----

チアキ「えっと、dirでいいのね」

```
C:¥foobar>dir
```

(略)

```
.          <DIR>          04-04-05  12:13  .
..         <DIR>          04-04-05  12:13  ..
TEST      TXT           58  04-04-05  12:15  test.txt
NEWDIR    <DIR>          04-04-07  09:05  newdir
          1 個                58 バイトのファイルがあります。
          3 ディレクトリ      4,588.56 メガバイトの空きがあります。
```

チアキの期待通りの結果が、DOS画面にあった。当然、タイチの文面は丁寧にフォローしてある。

タイチ『test2.txtとtest3.txtが削除されています。もし、元々、存在しないファイルを削除しようとしたら、どうなるでしょう』

どうなるっての？エラーが出るのかしら。Windowsの場合は、初めからないものは消せないんだけど、そうか、DOSの場合って、削除するファイル名を指定できるからそんな質問ありなんだ。やってみようかな。

チアキはtest9.txtというありえないファイルを消してみることにした。

```
C:¥foobar>del test9.txt
ファイルが見つかりません。
```

やっぱり、エラーが出るんだ。このときはDOSも黙秘権は使わないんだね。でも、DOSってどういうときにメッセージを出すんだろう。うまくいったときにも出すし、うまくいかなかったときにも出すし。一つ一つ覚えるしかないのかな。タイチ先輩に直接教えてもらえればすぐにわかるんだけど....。

タイチ『ちゃんと、エラーが表示されますね。今度はcopyコマンドでtest.txtをtest2.txtからtest5.txtまでコピーしてください』

タイチのメールを読み進めるチアキにとって、丁寧すぎる文体が同時に他人議行儀にも感じられて、意識を集中する意味では救われる感じがした。次は、ええっと、test2からtest5までに増やすのね。

DOSのコマンドを使いこなしているような速いタイピングで、一気に4行入力

したチアキだった。社内でも速いと評判のチアキのタイプスピードも相まって、知らない人が見たらDOSのベテランに見えただろう。

```
C:¥foobar>copy test.txt test2.txt
      1 個のファイルをコピーしました.
```

```
C:¥foobar>copy test.txt test3.txt
      1 個のファイルをコピーしました.
```

```
C:¥foobar>copy test.txt test4.txt
      1 個のファイルをコピーしました.
```

```
C:¥foobar>copy test.txt test5.txt
      1 個のファイルをコピーしました.
```

画面にはチアキの入力結果が表示されていた。タイチ先輩…。私が、こんなにDOSの操作がうまくなったのをわかっていて欲しいな。でも、タイチの次の文は簡単だった。

タイチ 『dirコマンドで確認してください』

そのまま、入力するチアキ。何かが急に心にこみ上げてきて、画面がかすんで見える。

```
C:¥foobar>dir
```

(略)

```
.          <DIR>          04-04-05  12:13 .
..         <DIR>          04-04-05  12:13 ..
TEST      TXT           58  04-04-05  12:15 test.txt
NEWDIR    <DIR>          04-04-07  09:05 newdir
TEST2     TXT           58  04-04-12  22:17 test2.txt
TEST3     TXT           58  04-04-12  22:17 test3.txt
TEST4     TXT           58  04-04-12  22:17 test4.txt
TEST5     TXT           58  04-04-12  22:17 test5.txt
          5 個                290 バイトのファイルがあります.
          3 ディレクトリ      4,587.77 メガバイトの空きがあります.
```

タイチ 『さて、ここで、test.txt, test2.txt ~ test5.txtを削除します。delコマンドを5回入力するのも方法ですが、ワイルドカードで一挙に削除することもできます。以下をコマンド入力してみてください (delと*.txtの間は半角スペース)』

```
『del *.txt』
```

チアキの打つキーボードの音だけが静かに部屋に消えていく。

```
C:¥foobar>del *.txt
```

タイチ 『例の如く、C:¥foobar>プロンプトが表示されるだけですが、全てのファイルが削除されています。証拠にdirコマンドを入力します』

```
C:¥foobar>dir
```

(略)

```
.          <DIR>          04-04-05  12:13 .
..         <DIR>          04-04-05  12:13 ..
NEWDIR    <DIR>          04-04-07  09:05 newdir
          0 個                0 バイトのファイルがあります.
          3 ディレクトリ    4,587.84 メガバイトの空きがあります.
```

タイチのメールにある手順どおりに入力していくチアキ。

もう、画面はほとんど見えない。いっそのこと、DOSのdelコマンドのように、こんな気持ち、消えてしまえばいいのに…。でも、タイチの文面はチアキの気持ちを無視するかのようが続いていた。

タイチ 『綺麗になくなっていきますね。*.txtは「ファイル名本体は何でもいいから、拡張子がtxtのファイルを全て」という意味です。この*.txtをdelコマンドで指定しているため全てのファイルが消えました』

タイチ 『このワイルドカードは強力です。間違えて意図しないファイルまで消してしまうことがあります。delコマンドでワイルドカードを使う時は先にdirコマンドで同じようにワイルドカードを指定してファイルに間違いがないことを確認しましょう(例: dir *.txt)』

タイチ 『最後にnewdirディレクトリを削除してみましよう。ディレクトリは中身が空でないと削除できないので、newdirディレクトリの中にあるファイルを消してからディレクトリを削除します』

途中から読めなくなっていたタイチからのメールの最後の文面を、チアキは賢明に読み返した。そして、タイチの指示どおり、コマンドを一気に入力した。自分ができる一番速いタイプスピードで。

```
C:¥foobar>cd newdir
C:¥foobar¥newdir>del test3.txt
C:¥foobar¥newdir>cd ..
C:¥foobar>rmdir newdir
```

タイチ『うまくできましたか？dirコマンドで確認しておきましょう』

うう。もう止めようがなかった。ゆがんだ画面しか見えなくなっちゃった…。

*

翌日、抱えていた仕事が一段楽した様子のもトコは「久しぶりに甘いものを食べに行かない？」とチアキを誘った。今日は出社の時から落ち込んでいたチアキだが、もトコが自分のことを気にしてくれていることが内心とても嬉しかった。

この界隈には喫茶店が多く、シックな店構えやガラス張りで透明感のある店が並んでいる。あいにくの雨だけど、それが余計にしっとりとした色調を浮き立たせる。喫茶店でお気に入りの席に座ったチアキは、もトコの肩越しに道行く人を眺めながら、そんな風景を見ているだけでも気が安らぐと思った。

その時。エッ！…。チアキは思わず声をあげそうになった。通りの斜め向かいのしゃれたガラス張りの喫茶店にアキコさんがいる！対面に座っている人の後ろ姿の男性は間違いなし、タイチ先輩だ。二人とも煙草を吸ってる。社内では見たことがなかった光景だった。

「ねえ、それでさあ…」場を盛り上げてくれようとするもトコの声が遠く聞こえる。互いの存在を補完するような大人の雰囲気さえ感じられる二人。

「エッ！」もトコに気づかれないように笑みを作り続けていたチアキだが、今度は小さな声が出てしまった。「なに？」もトコが首をかしげている。

アキコさん、泣いてるみたい…。あの厳しくて気丈なアキコさんが…。タイチ先輩がなだめている様子が見える。目をそらす意外にチアキが平静でいられる方法はなかった。

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2005 rpn hacks! All rights reserved